

# 株式会社アイティークレスト 新築移転 (2019年12月予定)

[旧・株式会社共同電算センター]

# 03

2019年10月、「株式会社共同電算センター」は、「株式会社アイティークレスト」へ改称しました。

## 人材確保を強化 受注拡大目指す

物流・情報システムの開発や運用を手掛ける株式会社アイティークレスト（旧・株式会社共同電算センター）は、社屋を組合会館別館2階から卸センター敷地内に新築移転します。新社屋は11月下旬に完成し、12月に事務所の移転を予定。「第2の創業」と位置づけ、組織活性化や売り上げ向上を目指します。

同社は1982年の設立以来、株式会社共同物流サービスの情報システムを開発、運用してきました。近年はその他に民間や自治体からの業務受注も増えています。

移転後の社屋は鉄骨造り2階建て、延べ床面積約600㎡。作業スペースを拡充し、人材の確保を強化する方針です。これにより、組合員企業及び一般ユーザーからの受注拡大を目指します。



(株)アイティークレスト新社屋の完成イメージ



### お客さま視点がモットーの、「情報システム構築」と「運用サポート」

1. 安定稼働を第一とした情報システムをご提供します。
2. お客さまとの情報共有・対話を大切にし、課題解決のお手伝いをいたします。
3. お客さまのご要望に応じて設計したシステムを、優れたコストパフォーマンスで実現いたします。
4. 常に迅速な対応をお約束いたします。

### 〈関連法人の近年の動き〉

(株)共同物流サービス  
「第三物流センター」  
(2016年6月から稼働)



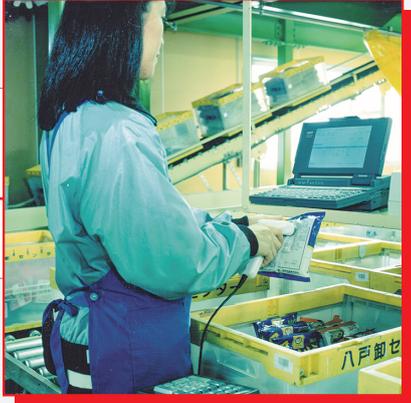
株式会社共同物流サービスが八戸北インター工業団地内に整備した「第三物流センター」は、2016年6月の稼働以来、新たな物流拠点として存在感を發揮しています。

同社は組合員企業の倉庫と配送の共同化を実施するため、1972年に株式会社卸センター倉庫として誕生しました。

第三物流センターは、小売りが発注した商品の入荷や検品、保管、店舗別仕分け、配送などの業務を担っています。同社初となる車両整備場をはじめ、大型車両洗浄機、自家用スタンドといった充実した設備を整備。建物は「トラス構造」により柱が少なく、移動ラックやコンベア設備などの効率的な配置が可能になっています。

年	月	組合の出来事	月	物流業務 (株式会社 共同物流サービス)	月	情報処理業務 (株式会社 アイティークレスト) (旧・株式会社 共同電算センター)
1969年 (昭和44)	1月	組合設立登記				
1970年 (昭和45)	3月	前年10月から開始した 用地買収をほぼ完了(18ha)				
1971年 (昭和46)	9月	街区造成、組合会館が完成 以後、組合員店舗が順次完成				
1972年 (昭和47)	2月 5月	南部バス卸センター線開通 八戸市営バス卸センター線開通	7月 12月	(株卸センター倉庫(資本金 300万円)を組合員と組合の 共同出資で設立 第1共同倉庫竣工、共同保管 事業開始		
1973年 (昭和48)	10月 11月 〃	(協)八戸総合卸センター完成祝典挙行 毎月10日を清掃日に制定 (現在も巡回点検と併せて継続) 第1回卸センター運動会を開催 (昭和60年・第13回まで開催)				
1996年 (平成8)	2月 4月 8月 12月	茶道・華道教室を開設(茶道は平成8年 まで、華道は平成15年まで継続) 組合員店舗建築、第1期47社完了 テニス講習会開催 第1回卓球大会を開催(昭和52年まで開催)				
1975年 (昭和50)	3月 8月	第1回卸センター麻雀大会を開催 (平成12年・第27回まで開催) 第1回野球大会を開催 (平成9年・第23回まで開催)				
1976年 (昭和51)	11月 〃	第1期用地組合員と土地分譲契約 締結 第2期計画用地の買収				
1977年 (昭和52)	8月	第2期計画用地の造成開始(7ha)	1月 4月	自動車運送取扱 事業登録 配送ホーム完成、 共同配送事業開始		
1978年 (昭和53)	5月 10月	第2期計画用地の造成完了 中小企業団体中央会全国大会 において優良組合として表彰	10月	第2共同倉庫 (2,287㎡)完成、 使用開始		



年	月	組合の出来事	月	物流業務 (株式会社 共同物流サービス)	月	情報処理業務 (株式会社 アイティークレスト 旧・株式会社 共同電算センター)
1979年 (昭和54)	1月	 <p>組合会館別館・共同倉庫増設 創立10周年記念式典挙行 組合会館食堂「ぎんなん」を 組合直営で営業開始</p>	9月	活路開拓調査指導事業の開始 ～電算機の共同利用と その物流合理化への活用～		
	7月					
11月						
1980年 (昭和55)	11月	第2期組合員店舗建築 20社完了	10月	共同電算センター運営 システム開発作業を開始		
	1981年 (昭和56)	 <p>263人が出席した創立10周年記念式典</p>	9月	共同電算POSシステム 稼働(1社)		
1982年 (昭和57)	11月		業務の範囲を限定する一般 区域貨物自動車運送事業 経営免許取得 (平成4年に「限定」解除)	1月	(株)共同電算センター設立	
1983年 (昭和58)	11月	卸センターダンスパーティーを開催 (昭和62年まで開催)	12月	積合貨物運送許可取得	5月	活路開拓調査指導事業の開始 ～共同小口納品システム開発～
			11月	受発注オンラインシステム完成、 稼働		
1984年 (昭和59)	10月	第1回卸センターフェアを開催 (昭和62年まで開催)	4月	第2共同倉庫に物流 加工用設備設置、 物流加工業務開始	 <p>共同電算センター開所式</p>	
9月	第3共同倉庫が完成、 業務開始					
1986年 (昭和61)	3月	第2期用地組合員と土地分譲契約 締結				
1987年 (昭和62)	2月	卸センターボウリング大会開催 (平成16年まで・以降も断続的に開催) 団地機能活性化研究開始 ～北日本流通の新しい役割を求めて～ 第1回卸センターゴルフ大会開催(現在継続)	12月	制御コンピューターに よる仕分け作業指示 運用開始		
	8月					
10月						
1988年 (昭和63)			3月	第4倉庫冷蔵庫取得		
1989年 (平成元)	1月	社団法人中小企業研究センター賞 (地区表彰)を受賞 (現在のグッドカンパニー大賞 優秀企業賞に相当) 卸センタースキーツアー開催 (平成15年まで開催)	12月	第二物流センター建設用地 造成着工	7月	青森県内5卸団地共同で 北日本流通ヴァン(株)を設立
	2月				9月	組合情報ネットワーク化事業 開始

年	月	組合の出来事	月	物流業務 (株式会社 共同物流サービス)	月	情報処理業務 (株式会社 アイティークレスト 旧・株式会社 共同電算センター)
1990年 (平成2)	8月	第二物流センター建設着手 第1回卸センター 納涼パーティー開催 (現在継続)			8月	北日本流通ヴァンシステム (ブルーネット) 本稼働
1991年 (平成3)	2月	3級販売士取得講座開始 (平成14年まで268人合格)	3月	第二物流センター(3,913㎡) 完成、配送ホーム稼働	3月	単品在庫管理システムを開発
	9月	リテールサポートに関する調査研究の開始	9月	第二物流センターメザニン、 出荷コンベアライン完成		
1992年 (平成4)	2月	2級販売士取得講座開始 (平成11年まで75人合格)	11月	地域中小卸売業活性化促進 事業の開始		
	7月	第2危険物倉庫の完成、稼働		～無欠点配システムの改善実験～		
1993年 (平成5)	10月	創立25周年記念式典挙行	3月	第5倉庫を取得、営業倉庫 として稼働開始		
			5月	誤納防止(誤作業即時修正) システムの実稼働		
			8月	第3倉庫メザニン完成		
1994年 (平成6)	4月	中小企業労働力確保推進事業の開始 ～経営資源の活性化による時短の実現を目指して～	4月	「流通業務効率化事業」の認定		
	9月	団地内下水道工事実施(翌年3月まで)	12月	物流効率化法認定施設 第二物流センター(3,671㎡) 完成		
	12月	三陸沖災害復旧地震特別融資制度創設 (263,600千円融資)				
1996年 (平成8)			5月	(株)卸センター倉庫から (株)共同物流サービスに商号変更		
			9月	金ヶ崎物流センター完成		
1997年 (平成9)			2月	日配センター完成	3月	ホストコンピューター更新
1998年 (平成10)	3月	パソコンカレッジ開催 (平成13年まで32回開催)	7月	第二物流センター の増築(2,027㎡)		
1999年 (平成11)	10月	第3期計画用地の造成(6ha)				
2000年 (平成12)	4月	第3期組合員店舗倉庫建設着手	2月	物流業務全部門でISO9002 認証取得 (平成27年ISO9001へ移行)		
			6月	第二物流センターの増築 (5,537㎡)		



年	月	組合の出来事	月	物流業務 (株式会社 共同物流サービス)	月	情報処理業務 (株式会社 アイティークレスト 旧・株式会社 共同電算センター)
2001年 (平成13)	3月	第3期計画用地造成完了	2月	新日配センター完成		
2003年 (平成15)	6月	活路開拓調査・実現化事業の実施 ～組合事業の活性化と環境基盤整備～	2月	金ヶ崎物流センター増築 (2,824 m <sup>2</sup> )		
	9月	市道348号線卸団地線サブ幹線 道路出入口に右折帯設置				
	10月	卸センター地区住居表示の実施				
2004年 (平成16)	7月	売店事業廃止	3月	第6倉庫取得 (8,051 m <sup>2</sup> )	6月	汎用コンピューターから UNIX サーバへ全システム 移行完了
	〃	八戸都市計画による卸センター地区計画決定				
	9月	団地内施設有効活用規約制定				
	10月	乾電池と蛍光灯の共同回収スタート (現在継続)				
2005年 (平成17)	1月	第3期用地組合員と土地分譲契約締結	10月	日配共配事業スタート		
	12月	共同給油所廃止				
2006年 (平成18)	1月	団地内メイン道路と市道の接続を八戸市に 要望	4月	八戸地区交通安全協会 八戸卸センター支部設立 共同警備に機械化システムを導入	〃	
	4月	八戸地区交通安全協会				
	〃	共同警備に機械化システムを導入				
2007年 (平成19)	2月	集積区域整備事業の実施 (平成21年まで9社実施)	10月	日配物流センター増築 (2,509 m <sup>2</sup> ) 11月 仙台営業所開設	6月	UNIX サーバ更新
	6月	まちづくり研究会発足				
	10月	西地区周辺道路合同清掃スタート (以降、毎年4月と10月に実施)				
2008年 (平成20)	4月	資源ゴミ共同回収スタート	11月	第7倉庫 (3,231 m <sup>2</sup> ) 取得	〃	
	7月	環境マネジメントシステムの取り組み 開始 (平成25年まで)				
	8月	組合会館空調設備更新、トイレ改修				
2009年 (平成21)	3月	役員選挙規約制定	5月	第8倉庫 (1,987 m <sup>2</sup> ) 取得 9月 第二物流センターの 増築 (496 m <sup>2</sup> )	〃	
	5月	創立50周年に向けてのビジョン作成				
	6月	人材育成委員会新設				
	8月	八戸市と卸センター地域環境整備推進懇 談会開催 (現在継続)				
2010年 (平成22)	4月	八戸市に街路灯・街路樹を移管	6月	配送管理システム (着時間・出発時間システム) の導入	〃	
	6月	中小企業人材確保推進事業開始 (3ヵ年事業)				
	〃	メイン道路の歩道に花壇を設置 (平成26年までに整備)				
2011年 (平成23)	9月	「八戸卸センター会報」創刊号発行 (現在継続)	2月	卸商業団地機能向上支援事業実施 ①耐震診断の実施 ②太陽光発電による採算性の検証 ③防犯カメラシステムの検証 卸センター青年部 設立 (現名称：卸センター経営研究会)	3月	仙台物流センターの稼働 低温物流倉庫 (埠頭冷凍倉庫 6,238 m <sup>2</sup> ) 取得
	2月	卸商業団地機能向上支援事業実施				
	6月	卸センター青年部 設立 (現名称：卸センター経営研究会)				
					10月	自家発電装置導入 (停電対策)



年	月	組合の出来事	月	物流業務 (株式会社 共同物流サービス)	月	情報処理業務 (株式会社 アイティークレスト 旧・株式会社 共同電算センター)	
2012年 (平成24)	8月	組合会館の耐震補強工事実施	 <p>卸センターを東西に横切る市道長苗代・卸団地線が開通</p>				
	9月	第3期用地内下水道工事が完了し、卸センター内全域に下水道完備					
	10月	カーシェアリング事業スタート (平成29年廃止)					
	12月	団地内道路出入口4ヵ所に防犯カメラ設置 運動場を自動車ディーラー2社に賃貸					
2013年 (平成25)	4月	むつ小川原地域産業振興プロジェクト事業「セールスプロフェッショナル道場」実施			11月	UNIX サーバーにディザスタリカバリ構築 (災害時対策)	
	7月	卸商業団地機能向上支援事業実施 ①地盤沈下調査 ②境界点等変動調査 ③団地内道路開通に伴う影響等調査					
	9月	卸センター支店長・所長連絡会設立					
	12月	市道長苗代・卸団地線開通					
2014年 (平成26)	2月	組合員交流ハワイ旅行実施 (22人参加)			10月	各種システムのクラウド化対応を順次実施	
	3月	卸センター入口 (西口・東口) に案内看板設置					
	10月	創立45周年記念式典挙行					
	12月	大津波警報発令時の避難者受け入れについてしもなが安全安心ネットワークと合意書締結					
2015年 (平成27)	3月	組合会館前に信号機が設置される					
	6月	WEB上での会場予約システム導入 第1回卸センター美化・緑化推進コンクール開催 「Buy 卸センター運動」スタート					
	3月	共同求人活動スタート (合同企業説明会への参加)					
2016年 (平成28)	4月	冠水対策として調整池に排水管を設置	6月			第三物流センター稼働	
	5月	むつ小川原地域産業振興プロジェクト事業「次世代リーダー育成事業」実施 (全4回)					
	12月	八戸市による団地内メイン道路、サブ幹線道路かさ上げ完了 インフルエンザ集団予防接種を実施 (現在継続)					
	9月	団地内の雨水排水管路調査を実施 各種教養講座開催 (ヨガ、空手エクササイズ、お金の教養、ワイン)					
2017年 (平成29)	1月	組合員アンケート調査 ①建て替え・リニューアルについて ②保育園設置について ③会館展示場のリニューアルについて	4月			白山台物流センター稼働	
	7月	中小企業活路開拓調査・実現化事業～組合会館展示場リニューアルに関する調査研究～					
	11月	北インター物流センター稼働					
2018年 (平成30)	2月	企業主導型保育事業の助成決定				10月	(株)共同電算センターから(株)アイティークレストに商号変更
	9月	HOCこどもの森保育園 開園					
	10月	創立50周年記念式典挙行					
	11月	組合会館 (別館) 改修工事 着工 (予定)					
2019年 (令和元)	2月	企業主導型保育事業の助成決定				12月	新社屋へ移転 (予定)
	7月	組合会館 (別館) リニューアルオープン (予定)					
2020年 (令和2)	7月	組合会館 (別館) リニューアルオープン (予定)					

西暦 和暦	理事長	副理事長	副理事長	専務理事	事務局長	期末組合員数	出資金(千円)	役員数	職員数
昭和42年12月23日 ～昭和43年11月4日	八戸流通調査会・八戸流通センター建設推進会(代表:橋本忠吉)					44			
1968 昭和43年	橋本 忠吉	村上 由蔵	-	-	佐川 達夫	46	10,160	8	1
1969 昭和44年	橋本 忠吉	村上 由蔵	-	-	佐川 達夫	37	8,420	7	1
1970 昭和45年	橋本 八右衛門	橋本 忠吉	村上 由蔵	佐川 達夫	-	38	32,860	8	2
1971 昭和46年	橋本 八右衛門	橋本 忠吉	村上 由蔵	佐川 達夫	-	37	29,100	10	2
1972 昭和47年	橋本 八右衛門	橋本 忠吉	村上 由蔵	佐川 達夫	-	42	35,850	10	3
1973 昭和48年	橋本 八右衛門	橋本 忠吉	村上 由蔵	佐川 達夫	-	47	38,860	10	5
1974 昭和49年	橋本 八右衛門	橋本 忠吉	村上 由蔵	佐川 達夫	-	47	39,370	10	4
1975 昭和50年	村上 由蔵	鈴木 継男	工藤 欣一	佐川 達夫	-	59	46,410	10	6
1976 昭和51年	村上 由蔵	鈴木 継男	工藤 欣一	佐川 達夫	-	60	354,250	10	7
1977 昭和52年	村上 由蔵	鈴木 継男	工藤 欣一	佐川 達夫	-	62	352,700	9	7
1978 昭和53年	村上 由蔵	鈴木 継男	工藤 欣一	佐川 達夫	-	62	356,660	9	7
1979 昭和54年	村上 由蔵	鈴木 継男	工藤 欣一	佐川 達夫	-	67	362,190	10	13
1980 昭和55年	村上 由蔵	鈴木 継男	工藤 欣一	佐川 達夫	-	67	362,190	10	15
1981 昭和56年	村上 由蔵	鈴木 継男	工藤 欣一	佐川 達夫	-	65	361,510	10	15
1982 昭和57年	村上 由蔵	鈴木 継男	工藤 欣一	佐川 達夫	-	66	361,750	9	15
1983 昭和58年	村上 由蔵	鈴木 継男	工藤 欣一	佐川 達夫	-	67	362,420	10	14
1984 昭和59年	鈴木 継男	工藤 欣一	橋本 昭一	佐川 達夫	-	67	362,430	8	15
1985 昭和60年	鈴木 継男	工藤 欣一	橋本 昭一	佐川 達夫	-	67	579,920	10	14
1986 昭和61年	鈴木 継男	工藤 欣一	橋本 昭一	佐川 達夫	-	65	573,060	10	14
1987 昭和62年	鈴木 継男	工藤 欽一	橋本 昭一	佐川 達夫	-	65	576,470	10	15
1988 昭和63年	鈴木 継男	工藤 欽一	橋本 昭一	佐川 達夫	下館 等	65	576,420	10	15
1989 平成 元年	鈴木 継男	工藤 欽一	橋本 昭一	佐川 達夫	下館 等	65	576,420	9	17
1990 平成 2年	鈴木 継男	橋本 昭一	村井 達	佐川 達夫	下館 等	66	579,920	8	18
1991 平成 3年	鈴木 継男	橋本 昭一	村井 達	佐川 達夫	下館 等	66	579,920	10	18
1992 平成 4年	鈴木 継男	橋本 昭一	村井 達	佐川 達夫	下館 等	65	736,710	10	19
1993 平成 5年	鈴木 継男	橋本 昭一	村井 達	佐川 達夫	下館 等	64	729,850	10	19
1994 平成 6年	鈴木 継男	橋本 昭一	村井 達	佐川 達夫	下館 等	65	736,710	9	19
1995 平成 7年	鈴木 継男	橋本 昭一	村井 達	佐川 達夫	下館 等	63	721,440	9	19
1996 平成 8年	鈴木 継男	橋本 昭一	村井 達	佐川 達夫	下館 等	64	731,450	9	18
1997 平成 9年	鈴木 継男	橋本 昭一	村井 達	佐川 達夫	下館 等	64	731,450	9	18
1998 平成10年	鈴木 継男	橋本 昭一	村井 達	佐川 達夫	下館 等	64	736,710	8	18
1999 平成11年	鈴木 継男	橋本 昭一	佐川 達夫	佐川 達夫	下館 等	62	719,390	8	18
2000 平成12年	鈴木 継男	橋本 昭一	佐川 達夫	佐川 達夫	下館 等	67	798,930	10	17
2001 平成13年	鈴木 継男	橋本 昭一	佐川 達夫	佐川 達夫	下館 等	66	791,230	9	13
2002 平成14年	橋本 昭一	佐川 達夫	-	佐川 達夫	下館 等	66	805,490	10	14
2003 平成15年	橋本 昭一	佐川 達夫	-	佐川 達夫	下館 等	66	809,510	10	12
2004 平成16年	橋本 昭一	佐川 達夫	-	佐川 達夫	下館 等	66	890,580	9	12
2005 平成17年	橋本 昭一	石橋 正男	-	-	森山 慶一	68	890,980	9	12
2006 平成18年	橋本 昭一	石橋 正男	-	森山 慶一	森山 慶一	71	918,700	9	12
2007 平成19年	橋本 昭一	石橋 正男	-	森山 慶一	松尾 清志	72	950,700	9	12
2008 平成20年	橋本 昭一	石橋 正男	-	森山 慶一	松尾 清志	69	932,350	9	12
2009 平成21年	橋本 昭一	森山 慶一	-	森山 慶一	松尾 清志	71	951,500	11	12
2010 平成22年	橋本 昭一	大黒 裕明	森山 慶一	森山 慶一	松尾 清志	72	951,700	11	12
2011 平成23年	橋本 昭一	大黒 裕明	森山 慶一	森山 慶一	松尾 清志	73	951,700	10	12
2012 平成24年	橋本 昭一	大黒 裕明	森山 慶一	森山 慶一	松尾 清志	75	952,100	10	12
2013 平成25年	橋本 昭一	大黒 裕明	森山 慶一	森山 慶一	松尾 清志	76	947,300	10	12
2014 平成26年	橋本 昭一	大黒 裕明	森山 慶一	森山 慶一	松尾 清志	74	951,410	10	13
2015 平成27年	橋本 昭一	川崎 益美	森山 慶一	森山 慶一	-	72	943,600	9	13
2016 平成28年	橋本 昭一	川崎 益美	森山 慶一	森山 慶一	-	73	956,180	9	12
2017 平成29年	橋本 昭一	川崎 益美	森山 慶一	森山 慶一	田湯 俊行	72	937,360	10	12
2018 平成30年	橋本 昭一	川崎 益美	森山 慶一	森山 慶一	田湯 俊行	73	929,020	10	14
2019 令和 元年	川崎 益美	橋本 博文	森山 慶一	森山 慶一	田湯 俊行	72	931,450	10	12